

一般質問

市政の未来を問う

この定例会では、12月6日から8日までの3日間で、22名が登壇し、50項目にわたり、市政全般についてたえず一般質問が行われました。一人一項目を要約し、掲載します。

一般質問項目（発言順）

- 野村 武文 議員 法人市民税召し上げと健全財政について
- 白土 美恵子 議員 子育て支援策について
- 外山 鉦一 議員 女性が活躍できる社会の実現について
- 前田 田代 議員 公共施設等の照明LED化について
- 新田 村 議員 岩ヶ池防災ダム事業について
- 加藤 賢次 議員 配食サービスの毎日実施について
- 黒川 川 議員 高齢者等施設における防災について
- 新海 真規 議員 北部地区のバス路線について
- 鈴木 須賀 議員 愛教大との連携について
- 鈴木 須賀 議員 指定管理者制度の運用について
- 黒川 川 議員 地区社会福祉協議会について
- 黒川 川 議員 重原幼稚園跡地の保育園整備について
- 加藤 賢次 議員 食物アレルギー対策について
- 新海 真規 議員 自助防災組織の運営方針について
- 加藤 賢次 議員 アルコール健康障害について
- 伊藤 藤 議員 太陽光発電について
- 加藤 賢次 議員 結婚支援策について
- 伊藤 藤 議員 衣浦定住自立圏について
- 山内 智彦 議員 年金受給資格の短縮について
- 山内 智彦 議員 刈谷市の財政状況について
- 神谷 昌哉 議員 イベント開催と地方自治体の狙いについて
- 山内 智彦 議員 パブリックコメント手続き制度について
- 神谷 昌哉 議員 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

野村 武文 議員
法人市民税が一部国税化されても、健全財政の維持を
補助金や基金等を活用し、市民生活に影響のないよう努める

問 法人市民税一部国税化による影響額は。

答 平成26年10月1日事業分から始まっており、法人市民税は、27年度が約4億8千万円、28年度が約12億1千万円の減額である。

問 法人市民税の税率が平成31年度には、9.7%から6.0%になる見込みである。国税

白土 美恵子 議員
女性が活躍できる社会の実現を
男女共同参画基本条例の制定を検討する

問 本市における女性の就業状況は。

答 アンケート調査の結果、20代では正社員、30代では無職、40・50代では非正規雇用の女性が最も多い状況である。30代で無職になる要因は主に結婚・出産である。

問 就労意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

外山 鉦一 議員
公共施設等の照明をLED化し、経費削減と地球温暖化防止を
照明器具の劣化状況と施設の改修計画を鑑み更新していく

問 防犯灯のLED化は、今年度末に全灯切り替え完了か。

答 完了する予定である。

問 街路灯LED化への取り組みは。

答 街路灯の多くは、高い省エネ能力と長寿命を持つ照明を使用しているが、修繕の機会に順次LEDに切り替えていく。

問 小中学校の教室・体育館の改修計画に沿って進めていく。

前田 秀文 議員
岩ヶ池防災ダム事業を推進し、安全性の向上を
地元と調整を図り、工事を計画的に行っていく

問 岩ヶ池の堤体は、耐震調

答 岩ヶ池の堤体は、耐震調

問 岩ヶ池防災ダム事業の目的は。

答 岩ヶ池の堤体は、耐震調

加藤 幸弘 議員
大規模災害発生時における医療救護体制の充実を
今後各医療救護所での訓練と関係機関との調整を行っていく

問 医療救護体制の仕組みは。

答 最大5カ所に設置する医療救護所、医師らがトリアージと応急処置を行う。その結果、医療機関での治療が必要な場合は後方支援病院へ、重症患者は災害拠点病院へ搬送される。

問 これまでに行った医療救護所訓練の課題は。

答 各救護所からの情報集約

後、28年度に地元同意が得られたため、29年度より事業に着手することとなった。本事業により、洪水吐と堤体の補強等を行い、決壊被害等を抑制する。

問 今後の工事のスケジュールは。

答 30年度に池の外側の地盤改良工事、31年度は池の中側の地盤改良工事、32年度は老朽化した洪水吐の改修工事と緊急放流施設の設置工事、33年度は堤



防災ダム事業が進む岩ヶ池

新井 健治 議員
高齢者の健康増進を図るため配食サービスの充実を
今後サービスを通して食の確保とともに安否確認を行う

問 高齢者のみの世帯などを対象とした配食サービスがあるが、一般食の利用者数の推移は。

答 平成26年度は370人、27年度は333人、28年度は347人である。

問 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

答 本市の配食サービスは、他のサービスの利用により安否確認の機会があることを踏まえ、提供回数を週3回までとしている。また、事業者が確実に手渡しで提供しており、その際に様子を伺うことで食の確保とともに健康状態の把握や安否確認につなげている。

加藤 賢次 議員
北部地域のバス路線を広域的に延伸し、利便性の向上を
ニーズ調査を実施し、その結果を基に名鉄バスと協議していく

問 高齢社会の進展等に伴い、公共交通の重要性が見直されているが、どう考えているか。

答 市民に欠かすことのできない移動手段になっている。地域生活圏などのニーズを把握し、バス路線等の充実を図っていく。

問 北部地区の現況は。

答 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立―愛教大

鈴木 浩一 議員
自動車の安全技術向上・技術普及による交通事故抑止を
技術の進展を見据え、今後の活用方法を検討する

問 全国初となるレベル4の自動運転実証実験が平成29年10月に本市で行われたが、その内容と結果は。

答 岩ヶ池公園内の管理用道路、約500mで車載カメラ・センサー・3Dマップを基に、時速20kmの条件下で遠隔型の自動運転実験を実施。ドライバーがいない状態で、安定・スムーズ

問 無年金者救済法が平成29年8月1日に施行され、必要な加入期間が25年から10年に短縮された。対象の386名のうち何名から請求書の提出があったか。

答 11月14日現在で、291名の方から年金事務所に提出があった。

問 この法律の成立により受給できると分かった方も多く、大きな成果と言えるが、その内訳はどうか。

答 291名のうち、245名が今回の期間短縮により受給



婚活バスツアー

山内 智彦 議員
ヒックイイベントの開催により、世界の人に刈谷市のPRを
産業人材の育成を図り、「ものづくりのまち刈谷」をPRする

問 10月にアラブ首長国連邦アブダビで開催された技能五輪国際大会での、市内企業の成績は。

答 日本代表45名のうち、市内企業の選手は12名で、金メダル5名、銀メダル1名、銅メダル2名、敢闘賞3名という素晴らしい成績であった。

問 今後の大会の動向は。

答 今後の大会の動向は。



無年金者救済法が施行

- 上田 昌哉 議員 亀城公園エリアの整備について
- 中嶋 祥元 議員 刈谷市の安全安心に向けた対策強化について
- 鈴木 綱男 議員 刈谷の将来のまちづくりを見据えて
- 渡邊 妙美 議員 発達障害のある人への支援について
- 星 野 議員 第7期介護保険事業計画について
- 山本 シモ子 議員 保育所入所大変更の疑義について

れることである。

問 指定管理者制度を導入することで成果をあげている図書館もあるが、今後導入の考えは。

答 大府市のように指定管理者制度の導入により住民サービスが向上し、来館者が増加するなど大きな成果をあげている事例もあることから、今後も指定管理者制度導入の可能性も含め、魅力ある図書館としていくための調査研究をしていきたい。

鈴木 正人 議員
重原幼稚園跡地に建設する保育園の募集定員数は130人以上の定員規模で募集をしていきたい

問 重原幼稚園跡地における保育園整備の事業主体は。

答 国や県の費用負担が見込めることから、休日保育や一時保育など、保護者の多様なニーズに対応することができる社会福祉法人等の民間事業者による運営を考えている。

問 整備スケジュールはどのよう想定しているか。

答 平成30年度については、幼稚園の夏休み期間を利用して、用地の造成工事を行い、3月の幼稚園閉園後、速やかに園舎の解体工事に入る計画となっている。31年度については、8月までに解体工事を終了し、その後、運営主体となる民間事業者が新園舎の工事を行っていたり、計画と画となっている。

黒川 智明 議員
大規模災害発生時に活躍できる自主防災組織を
市内全域の防災力の向上を図っていく

問 刈谷市地域防災計画では、自主防災組織を設け、各活動を組織的に行うことが重要と記載されている。今年度行った自主防災体制の育成強化の内容は。

答 各地区で安否確認から避難所開設までの訓練を行った。

問 様々な被災がほぼ同時発

生し、その対応に地域は直面する。各地域の危険区域など特性を整理することで、自主防災組織のやるべきことが明確になると思うが、市の考えは。

答 一部の地区で危険箇所を記載した防災マップの作成などに取り組んでいる。先進的な取

伊藤 幸弘 議員
大規模災害発生時における医療救護体制の充実を
今後各医療救護所での訓練と関係機関との調整を行っていく

問 医療救護体制の仕組みは。

答 最大5カ所に設置する医療救護所、医師らがトリアージと応急処置を行う。その結果、医療機関での治療が必要な場合は後方支援病院へ、重症患者は災害拠点病院へ搬送される。

問 これまでに行った医療救護所訓練の課題は。

答 各救護所からの情報集約

山内 智彦 議員
ヒックイイベントの開催により、世界の人に刈谷市のPRを
産業人材の育成を図り、「ものづくりのまち刈谷」をPRする

問 10月にアラブ首長国連邦アブダビで開催された技能五輪国際大会での、市内企業の成績は。

答 日本代表45名のうち、市内企業の選手は12名で、金メダル5名、銀メダル1名、銅メダル2名、敢闘賞3名という素晴らしい成績であった。

問 今後の大会の動向は。

答 今後の大会の動向は。